

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：5年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男女ともに、特にソフトボール投げや20mシャトルランなどの運動を調整する能力である手先の器用さや、運動を持続する能力である全身持久力が優れている。
- 男子は、どの項目でも平均もしくはそれ以上の得点をとることができている。
- 女子は、上体起こしや握力、立ち幅跳びなどの筋持久力や筋肉を動かす能力、大きな力を出す能力である筋力、すばやく動き出す能力である瞬発力に課題がある。
- 立ち幅跳びや、50m走において、男女差がある。

2 取組についての評価

(1) 体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・できるようになったことを自覚させる自己評価や振り返り活動の設定
- ・タブレットを活用して、自分や友達の動きのポイントや技を確かめ、友達と交流し、学び合う活動の設定
- ・全校でドッチビー大会などの運動を主体的に楽しむための取り組みの設定

②改善を図る点

- ・運動時間を確保するため、子ども達が体を動かす時間を増やす授業計画の工夫

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・みんなで体を動かす楽しさや達成感を味わったり、体力向上につなげたりする長なわ記録会の取組を実施する。
- ・体育科の授業の初めの時間を活用し、各学年の課題に応じて「体力アップ福岡運動」から抜粋した動きを準備運動として取り入れる。